



日本製鋼所健康保険組合

症状がないから大丈夫？

それが「胃がん」の落とし穴です



胃がんは身近ながんです

- 日本人に多いがんの一つ
- 40歳以降で増加
- 初期は自覚症状がほとんどない
- 早期発見・早期治療で高い治療効果が期待できる

胃がんの大きな危険因子

「ピロリ菌感染」

ピロリ菌は胃の粘膜に住みつく細菌です。
長期間感染すると胃の粘膜が傷つき、

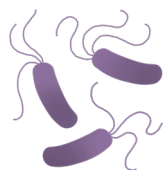
- ✓ 萎縮性胃炎
- ✓ 胃潰瘍
- ✓ 胃がん

ABC検診をご存知ですか？

血液検査で胃がんリスクを判定

ABC検診は

- ピロリ菌抗体検査
- ペプシノゲン検査



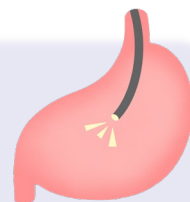
を組み合わせ、
胃がんになりやすい状態かどうかを
調べる検査です。

などの原因になる事があります。

感染していても症状がない場合が多いため、
検査で確認することが大切です。

ABC検診で安心していませんか？

- ABC検診は「リスク判定」
- 胃内視鏡検査は「病気の発見」



ABC検診のみでは胃がんそのものを発見できません。

B群以上の場合は胃内視鏡検査(胃カメラ)を受けましょう。

<判定イメージ>

- A群 低リスク
- B群 ピロリ菌感染あり
- C群 胃粘膜の萎縮あり
- D群 高度な萎縮あり
- ※ E群 ピロリ菌除菌後

C・D群ほど
胃がんリスクが高くなります。

<こんな方は要注意>

- ✓ ABC検診で高リスクだった
- ✓ ピロリ菌を除菌したことがない
- ✓ 胃がん家族歴がある
- ✓ 喫煙習慣がある
- ✓ 塩分の多い食事が多い



自分のため、家族のために
症状がない今こそ胃がん検診を

ABC検診で胃がんリスクを知り、必要に応じて胃内視鏡検査を受けましょう。

健保組合HP

